

(1) 学校給食・食育の充実

① 食育の推進

【平成 27 年度事業予定】

- ・ 創意工夫を生かした楽しい食事の場を提供し、児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図る。
- ・ 学校給食を通して望ましい食習慣、食べる物に対するありがたさ、食事ができることへの感謝の気持ちを培い、好ましい人間関係の育成に努める。

【平成 26 年度事業実績】

- ・ 栄養士が市内小学校を訪問し、2年生約 3,000 人を対象に食に関する指導を年 2 回実施した。

② 給食指導、給食への理解

【平成 27 年度事業予定】

- ・ 学校給食を通して家庭・地域との連携を図り、食に関する指導の推進に努める。
- ・ 児童生徒の食生活の基本である家庭との連携を図るため、給食内容や食生活の指導等を中心とした「給食だより」や広報誌「いきいき」などを発行する。
- ・ 親子で参加する夏休み料理教室、学校給食をより理解してもらうことを目的とした学校給食センター見学会等を開催する。

【平成 26 年度事業実績】

- ・ 「給食だより」を年 5 回発行、広報誌「いきいき」を年 1 回発行した。
- ・ 夏休み料理教室を 7 月、学校給食センター見学会を 8 月、食の探検隊を 11 月に開催した。



夏休み料理教室



学校給食センター見学会

③ 試食会

【平成 27 年度事業予定】

- ・ 児童生徒の保護者に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施する。

【平成 26 年度事業実績】

- ・ 56 回の開催で約 2,300 人が参加した。

④ 地場産物

【平成 27 年度事業予定】

- ・お米をはじめとして、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなどの川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努める。

【平成 26 年度事業実績】

- ・川越産米の使用実施は約 233 t であり、使用割合は 100% となっている。
- ・地場農産物や旬の食材を導入するなど、特色ある献立の充実に努めた。(平成 26 年度は米、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなど 19 品目の川越産農産物を使用した。)

⑤ 学校給食施設の整備

【平成 27 年度事業予定】

- ・老朽化が進む施設を計画的に更新するため、(仮称)川越市新学校給食センター整備運営事業を推進する。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの施設設備の改修を計画的に実施する。

【平成 26 年度事業実績】

- ・(仮称)川越市新学校給食センター整備運営事業について、10 月に実施方針を公表し、3 月に P F I 事業者を募集するための入札公告を行い、入札説明書及び関係資料を公表した。

⑥ 食材の安全確保、学校給食食材の放射性物質検査

【平成 27 年度事業予定】

- ・安心・安全でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努める。
- ・学校給食の安全性について更に市民の皆様にご安心していただくため、食材の放射能検査機器を用いて、毎日 3 品目程度の食材と 1 食分の完成品について、放射性物質の自主検査を実施する。

【平成 26 年度事業実績】

- ・557 品目の食材と 187 食分の完成品について放射性物質の自主検査を実施した結果、すべて不検出となっている。

学校給食費

- ・給食費は、金融機関による口座引き落とし(一部納付書払い)により、児童、生徒の保護者から徴収している。

① 学校給食費

区分	月額	年額	徴収月数	給食日数	1食当たり単価	備考
小学校	4,350 円	47,850 円	11 か月	188 日	254 円 52 銭	平成 27 年 4 月改定
中学校	5,250 円	57,750 円	11 か月	188 日	307 円 18 銭	平成 27 年 4 月改定

② 1食当たり単価(保護者負担額)

区分	主食	牛乳	副食	計	備考
小学校	49 円 52 銭	200cc 52 円 00 銭	153 円 00 銭	254 円 52 銭	平成 27 年 4 月改定
中学校	62 円 07 銭	200cc 52 円 00 銭	193 円 11 銭	307 円 18 銭	平成 27 年 4 月改定

学校給食摂取基準

・学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。

現行の基準は平成 25 年 4 月に改訂され、次のように定められている。

区 分	小学校児童の場合			中学校生徒の場合
	低学年 (6～7歳)	中学年 (8～9歳)	高学年 (10～11歳)	
エネルギー (kcal)	530	640	750	820
たんぱく質 (g)	16～26	18～32	22～38	25～40
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 25～30%			
ナトリウム (食塩相当量) (g)	2 未満	2.5 未満	2.5 未満	3 未満
カルシウム (mg)	300	350	400	450
鉄 (mg)	2	3	4	4
ビタミンA (μg RE)	150	170	200	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	20	25	35
食物繊維 (g)	4	5	6	6.5

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮すること。

マグネシウム…児童 (6～7歳) 70mg・(8～9歳) 80mg・(10～11歳) 110mg、生徒 (12～14歳) 140mg

亜鉛……………児童 (6～7歳) 2mg・(8～9歳) 2mg・(10～11歳) 3mg、生徒 (12～14歳) 3mg

給食指導資料

学校給食課企画・製作による次の資料が備えられている。

- 学校給食センターの 1 日
- こんなにおおくなりました！！ のこさずたべてくださいね (川越産枝豆)
- おこめにつき (川越産米)
- ぼくがだれだかわかるかな？ かわごえの畑ですくすく育っているよ (川越産とうもろこし)
- しょうゆができるまで (川越産大豆使用のしょうゆ)
- みつばの成長日記 (川越産みつば)
- 川越の名産 私は何でしょう 秋にほくほく！ (川越産さつま芋)
- ボーンくん (カルちゃん)



カルシウムに親しみを持ってもらう
ために生まれたキャラクター
ボーンくん

4. 教育センター Tel:049-235-7591 E-mail:kyoikucenter@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 名称 川越市立教育センター
- (2) 所在地 川越市古谷上 6083-10 (電話 049-235-7591・ファクス 049-230-1023)
- (3) 沿革
 - 昭和 56 年 8 月 1 日 川越市立教育研究所準備室を設置する。
 - 昭和 61 年 4 月 1 日 川越市立教育研究所を開設する。
 - 平成 12 年 4 月 1 日 川越市教育総合相談センター（リバーラ）を開設する。
 - 平成 15 年 4 月 1 日 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。
 - 平成 19 年 4 月 1 日 組織改編に伴い、係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。
 - 平成 21 年 4 月 1 日 旧川越市立古谷東小学校を教育研究所（旧古谷東小）施設とする。
 - 平成 22 年 4 月 1 日 川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室（リバーラ）を設置する。
 - 平成 27 年 4 月 1 日 いじめ相談直通電話を教育センター分室（リバーラ）から移設する。
- (4) 本年度の調査・研究
 - ① 児童生徒の学力に関する調査・研究
 - ・学力検査等の結果分析に基づく指導方法の工夫・改善に関する研究
 - ② 川越市の児童生徒の学習・生活状況調査に関する研究
 - ・取組の充実を図る指導方法の研究
 - ③ 男女平等教育に関する調査・研究
 - ・男女共同参画社会の構築に向けた指導方法の研究
 - ④ 情報教育に関する調査・研究
 - ・ICTを活用した学習指導に関する研究及び情報教育に関する資料の収集整理
 - ⑤ 小学校外国語活動に関する調査・研究
 - ・小学校外国語活動の指導計画・指導方法の研究
 - ⑥ 特別支援教育推進に関する調査・研究
 - ⑦ 不登校問題に関する調査・研究

(1) 教職員の資質向上

【平成 27 年度事業予定】

- ・経験・職能別研修、管理職等研修、奨励研修の充実を図る。

【平成 26 年度事業実績】

平成 26 年度研修会実施一覧

分類		研修会名	実施月	対象	主催	日数	延べ参加人数	
I 基本研修	1 基礎研修	初任者研修	川越市立小学校初任者研修	通年	教諭等	市	23	913
			川越市立中学校初任者研修	通年	教諭等	市	23	458
			川越市立高等学校初任者研修	通年	教諭等	県	—	—
			川越市立特別支援学校初任者研修	通年	教諭等	県	—	—
			川越市立学校初任者栄養教諭研修	通年	栄養教諭	県	—	—
	新規採用等 教職員研修	新規採用養護教員研修	通年	養護教諭	県	12	24	
		新規採用学校栄養職員研修	通年	学校栄養職員	県	—	—	
		新任学校事務職員研修会	4～7月	学校事務職員	県	7	7	
		新任転入等養護教諭研修会	4月	養護教諭	市	1	5	
		新任転入等学校事務職員研修会	6,7,9月	学校事務職員	市	3	17	
		公立小中学校等臨時的任用教員研修会	7月	臨時的任用教員	市	2	219	
	教職員 経験者研修	川越市立小学校 5 年経験者研修	5～2月	教諭等	市	10	194	
		川越市立中学校 5 年経験者研修	5～2月	教諭等	市	10	95	
		川越市立高等学校 5 年経験者研修	6～12月	教諭等	県	—	—	
		川越市立特別支援学校 5 年経験者研修	6～12月	教諭等	県	—	—	
		養護教員 5 年経験者研修	4～10月	養護教諭	県	5	5	
		学校栄養職員等 5 年経験者研修	4～10月	学校栄養職員等	県	1	5	
		川越市立小学校 10 年経験者研修	5～2月	教諭等	市	12	96	
		川越市立中学校 10 年経験者研修	5～2月	教諭等	市	12	48	
		川越市立高等学校 10 年経験者研修	通年	教諭等	県	—	—	
		川越市立特別支援学校 10 年経験者研修	通年	教諭等	県	—	—	
		養護教員 10 年経験者研修	通年	養護教諭	県	—	—	
		学校栄養職員等 10 年経験者研修	通年	学校栄養職員等	県	—	—	
		川越市立学校 20 年経験者研修	5～2月	教諭等	市	2	8	
	特別支援教育 新担当教員研修	特別支援学級新担当教員研修会	5,8,10月	教諭等	県	4	16	
		通級指導教室新担当教員研修会	4～8月	教諭等	県	5	5	
	2 管理職等 研修	管理職 候補者研修	校長候補者研修会（1、2年次以降）	7月,随時	教頭等	県	2	25
			教頭候補者研修会（1、2、3年次以降）	6～11月	教諭等	県	9	69
		新任等 管理職研修	新任校長・教頭事前研修会	3月	教頭・主幹教諭・教諭等	県	1	24
			新任校長・教頭研修会	5～12月	校長・教頭	県	6	72
		管理職研修	校長研修会	随時	校長	市・県	1	56
			教頭研修会	随時	教頭	市・県	1	56
			一人一人を大切に、信頼関係に立つ教育推進教頭研修会	8月	教頭	市	1	56
	生きる力をはぐくむ校種間連携教育研修会	7,8,2月	校長・教頭	市	3	109		
	3 職能別 研修	非常勤 職員等研修	特別支援教育支援員研修会	7月	支援員等	市	1	107
			特色あるさわやか相談室づくり研修会	4,7,12月	相談員	市	3	61
			魅力ある学校図書館をつくる図書整理員研修会	4,7,9,1月	図書整理員	市	4	90
			英語指導助手研修会	通年	英語指導助手	市	12	72
		主幹教諭研修	主幹教諭研修会	5,7,1月	主幹教諭	市	3	20
		教務主任研修	教務主任研修会	5,7,10,1月	教務主任	市	4	50
学校事務職員研修		学校事務職員研修会	8月	学校事務職員	市	1	93	
栄養教諭・学校栄養職員研修		栄養教諭・学校栄養職員研修会	7月	栄養教諭・学校栄養職員	市	1	17	
初任者研修拠点校指導教員等研修		拠点校指導教員等研修会	4,7,10,11,2月	拠点校指導教員等	市	6	50	
学校保健		養護教諭研修会	4,8,10,3月	養護教諭	市	4	55	
		保健主事研修会	4,8月	保健主事	市	2	54	
道徳教育		道徳教育推進教師研修会	5,2月	道徳教育推進教師等	市	2	50	

Ⅱ 学校教育 教育センター

分類		研修会名	実施月	対象	主催	日数	延べ参加人数
Ⅰ 基本研修	3 職能別研修	特別支援教育	特別支援教育コーディネーター養成研修会	5,8,2月	特別支援教育コーディネーター等	市	3 158
			就学相談担当者研修会	5月	就学相談担当者等	市	1 55
			特別支援学級担任研修会	7月	特別支援学級担任	市	1 44
			通級指導教室担当者研修会	4,7,3月	通級指導教室担当者	市	3 16
			難聴・言語障害研修会	8月	難聴言語障害通級指導教室担当者	市	1 49
	教育相談	学校教育相談コンサルテーション研修会	5,10月	教育相談担当者等	市	2 94	
	学校図書館教育	子ども読書活動推進研修会	8月	司書教諭等	市	1 52	
	情報教育	管理職のためのICT活用研修会	6月	校長・教頭	市	1 49	
		情報化推進リーダー研修会	7,10月	情報化推進リーダー等	市	2 53	
	進路指導・キャリア教育	進路指導・キャリア教育研修会	8月	進路・キャリア担当者等	市	1 54	
Ⅱ 専門研修	1 重点研修	教科全般	学力向上研修会	5月	教諭等	市	1 52
		理科	理科指導力向上研修会	8月	教諭等	市	1 32
		保健体育科	保健体育科指導力向上研修会	8月	保健体育科教諭等	市	1 21
			中・高等学校体育実技指導講習会	5,6月	保健体育科教諭等	県	4 44
		体育・保健体育科	体力向上全体研修会	2月	体育・保健体育主任等	市	1 54
		生徒指導	生徒指導主任研修会	7月	生徒指導主任等	市	1 56
		人権教育	人権教育主任研修会	5月	人権教育主任等	市	1 56
			人権教育授業研究会	10月	教科主任等	市	2 56
			男女平等教育研修会	7月	教務主任等	市	1 56
		環境教育	環境教育研修会	7月	環境教育主任等	市	1 56
	国際理解教育	国際理解教育研修会	7,10~2月	国際理解教育主任等	市	2 55	
	小学校外国語活動	小学校外国語活動指導者研修会	8月	小学校教諭等	市	2 67	
	英語科	英語科指導力向上研修会	7月	中学校教諭等	市	2 41	
	幼年期教育	子どものよりよい成長を考える研修会	8月	教諭等	市	1 89	
	食育	食に関する指導法研修会	7月	教諭等	市	1 52	
	学級経営	指導カスルアップ研修会	5~1月	採用2年目教諭等	市	2 58	
	学習指導	市立高等学校教員進学指導力向上研修	8月	市立高等学校教諭	市	1 3	
	家庭・地域連携	保護者とともに考える研修会	10月	教諭等保護者	市	1 58	
	2 奨励研修	国語科	国語科授業づくり研修会(国語力向上コース)	7月	教諭等	市	1 28
			国語科授業づくり研修会(読書指導コース)	7月	教諭等	市	1 33
社会科		社会科授業づくり研修会(副読本活用コース)	5月	教諭等	市	1 6	
		社会科授業づくり研修会(授業づくり基礎コース)	8月	教諭等	市	1 21	
算数・数学科		算数・数学科授業づくり研修会(数学的な思考力・表現力コース)	5月	教諭等	市	1 12	
		算数・数学科授業づくり研修会(楽しい授業づくりコース)	7月	教諭等	市	1 24	
		算数・数学科授業づくり研修会(個に応じた指導コース)	8月	教諭等	市	1 29	
理科		理科授業づくり研修会(新しい授業づくりコース)	8月	教諭等	市	1 14	
		理科授業づくり研修会(観察・実験指導コース)	7月	教諭等	市	1 21	
		理科授業づくり研修会(教材研究コース)	7月	教諭等	市	1 11	
英語科	AETと楽しむ英会話研修会	8月	教諭等	市	1 10		
	小学校外国語活動授業づくり研修会	7月	教諭等	市	1 8		
生活科	学ぶ楽しさを育む生活科授業づくり研修会(基本コース)	7月	小学校教諭等	市	1 9		
	学ぶ楽しさを育む生活科授業づくり研修会(実践コース)	7月	小学校教諭等	市	1 10		
音楽科	楽しい音楽科授業づくり研修会	7月	教諭等	市	1 22		
	やさしい和楽器実技研修会	8月	教諭等	市	1 33		
図画工作・美術科	楽しい図工・美術科授業づくり研修会(教材づくりコース)	8月	教諭等	市	1 22		
	楽しい図工・美術科授業づくり研修会(アートカード活用コース)	8月	教諭等	市	1 13		

分類		研修会名	実施月	対象	主催	日数	延べ参加人数	
Ⅱ 専門研修	教科等研修	技術・家庭科	楽しい技術・家庭科授業づくり研修会（技術分野コース）	8月	教諭等	市	—	
			楽しい技術・家庭科授業づくり研修会（家庭分野コース）	8月	教諭等	市	1	7
		体育・保健体育科	体力と運動技能を高める指導法研修会	7月	教諭等	市	1	20
			体育科授業づくり研修会	8月	小学校教諭等	市	1	15
	2 領域等研修	道徳	豊かな心を育てる道徳教育研修会	7,8月	教諭等	市	2	39
		特別活動	望ましい人間関係をつくる特別活動研修会	5,8,10月	教諭等	市	3	31
		教育相談	生徒指導・教育相談初級研修会	7,8月	教諭等	市	3	21
			生徒指導・教育相談中級研修会	7,8,10,11月	教諭等	市	9	117
			生徒指導・教育相談上級研修会	4～1月	教諭等	県	11	22
		情報教育	やさしいパソコン操作Ⅰ研修会（ICT機器活用コース）	7月	教諭等	市	1	13
			やさしいパソコン操作Ⅱ研修会（表計算コース）	7月	教諭等	市	1	27
			パソコンプレゼンテーションⅠ研修会（基本作成コース）	8月	教諭等	市	1	33
			パソコンプレゼンテーションⅡ研修会（応用作成コース）	8月	教諭等	市	1	26
			パソコンホームページ作成研修会	8月	管理職教諭等	市	1	9
			授業に役立つパソコンⅠ活用研修会（ICTを活用した授業づくりコース）	8月	教諭等	市	1	31
		教育課題研修	生徒指導	学級経営研修会	6,8月	教諭等	市	3
	教師のための話し方研修会			8月	教諭等	市	1	31
	特別支援教育		発達障害の理解と指導法研修会	5,8月	教諭等	市	3	31
	地域学習推進		授業に役立つ博物館を活用した体験的な学習研修会	8月	教諭等	市	1	16
	3 特色ある教育推進研修	地域学習推進	やまぶき夢プラン「かわごえ異業種体験研修」	8月	教諭等	市	5	50
川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー			8月	教諭等	市	1	44	
博物館活用指導者研修会			11月	教諭等	市	1	44	
特色ある学校づくり推進		特色ある学校づくり研修会（総合的な学習の時間）	8月	教諭等	市	1	54	
		今日的な教育課題の解決を考える研修会	7月	教諭等	市	1	56	
Ⅲ 特別研修	1 派遣研修	長期研修教員等派遣研修	長期研修教員等派遣研修	通年	教諭等	県	1年間	3
			大学院大学派遣研修	通年	教諭等	県	1年間	1
		在外教育施設派遣研修	在外教育施設派遣研修	通年	教諭等	国	—	—
		中央研修	教員研修センター中央研修	随時	教諭等	国	1年間	1
	学校と社会の相互交流事業	民間企業等派遣研修	随時	教諭等	県	—	—	
	2 県教育委員会研修	特定研修	県立総合教育センター特定研修	随時	教諭等	県	41	114
		専門研修	県立総合教育センター等専門研修	随時	教諭等	県	9	10
		県等主催研修	県教育局各課等における主催研修事業	随時	教諭等	県	73	432
	3 要請研修	訪問指導研修	訪問指導研修	随時	教諭等	市	57	908
		来訪指導研修	来訪指導研修	随時	教諭等	市	6	6
		教育センター研修	教育センター研修	随時	教諭等	市	14	93
	4 特別講習	学校保健	学校環境衛生検査器具取扱い講習会	8月	新任・転入養教・保健主事	市	1	19
		応急手当普及員	応急手当普及員講習会	8月	教諭等	市・消	3	56
			応急手当普及員再講習（平成20・23年度取得者）	8月	教諭等	市・消	1	56
		教職員健康推進	教職員健康増進講習会	8月	教諭等	市	1	56
		動物飼育	小学校動物飼育講習会	6月	教諭等	市	1	31
学校保健		就学時健康診断等に関する講習会	8月	就学時健康診断等担当者	市	1	64	
		学校歯科保健指導者講習会	11月	養護教諭	市	1	56	
		普通救命講習会	5月	教諭等	市	2	56	
	学校プール管理講習会	5月	教諭等	市	1	54		
体育・保健体育科	小学校体育実技指導法講習会（水泳）	6月	教諭等	市	1	34		

※対象：対象とする教職員の職名等を表している。

※主催：消 = 消防署

(2) 情報教育の推進

【平成 27 年度事業予定】

- ・情報化の進展に対応する児童生徒を育成するため、タブレット型端末の導入やコンピュータ等の機種更新に努め、効果的な活用についての先進的な研究を行う。
- ・市内小・中学校のすべての学級で情報教育機器を活用した授業が行われるよう、教職員の I C T 活用のための指導力の向上を目指した研修会の充実を図る。
- ・授業で活用できる実践例の紹介、業者による導入ソフトの操作法説明等、研修内容の工夫・改善に努める。
- ・教育の情報化に対応するため、普通教室でのインターネット接続を目指した校内無線 L A N について、導入に向けた研究を推進する。

【平成 26 年度事業実績】

- ・ I C T 機器の効果的な活用について各種研修会（15 講座 17 回延べ 585 人参加）を実施し、教員の操作技術の向上を図った。
- ・教育センターのパソコン 40 台を更新し、研修会の充実を図った。
- ・児童生徒が情報及び情報手段を主体的に収集し、選択して活用したり、発信したりすることができる情報モラルを含む情報活用能力の育成に努めた。
- ・情報化の進展に対応する児童生徒を育成するため、電子黒板やデジタル教科書、実物投影機等の効果的な活用について、先進的な研究を進めた。

(3) 英語指導助手（A E T）の配置事業の充実と活用

【平成 27 年度事業予定】

- ・国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、市立小・中・高等学校に配置されている英語指導助手の指導力の向上を図る。
- ・小学校での学級担任教員との外国語活動や中・高等学校での英語担当教員との共同授業において、英語指導助手をより効果的に活用できる配置を進めていく。
- ・英語指導助手のより効果的な活用、教員の指導力の向上を図り、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の 4 技能のバランスを取りながら、体験的・実践的な英語教育の充実を推進していく。

【平成 26 年度事業実績】

- ・現地採用 4 人、K E T 2 人、派遣契約 16 人の英語指導助手を配置した。
- < 訪問実績 >
- ・英語指導助手 22 人
 - ・ A E T の共同授業による 1 日平均授業時数（時間） 小学校 4.6 中学校 3.8
 - ・ A E T の 1 校あたりの年間訪問日数（日） 小学校 30.9 中学校 82.6
 - ・ A E T の年間全訪問日数（日）
小学校 990 中学校 1,817 市立川越高等学校 125 合計 2,932

英語指導助手配置状況の推移

（単位：人）

	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
JET	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KET	1	2	2	3	3	3	3	5	5	6	7	7	8	10	8	8	5	3	3	3	3	3	2	2	2	2
現地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	3	5	5	5	5	4	5	3	3	4
業務委託	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	6	11	13	13	13	13	14	-	-	-	-
派遣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	16	16	16
合計	2	3	3	4	4	4	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	21	21	21	21	22

※ J E T（語学指導等を行う外国青年招致事業） K E T（川越市姉妹都市交流事業） 現地（川越市在住外国人）

委嘱学校研究等一覧

1. 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学校名	教科等	発表予定日	研究主題
①川越小学校	国語科 理科 特別活動	平成27年 11月10日(火)	「豊かなかかわり合いを通して、進んで活動できる児童の育成」
②新宿小学校	国語科	平成28年 1月22日(金) 1月26日(火) 1月27日(水)	「子どもがうれしくなる国語科指導」 ～伝え合い 深め 表現する～
③今成小学校	体育科	平成27年 10月30日(金)	「自ら夢中で取り組む、運動好きな今成っ子の育成」 ～仲間と豊かに関わり、笑顔と汗があふれる授業を目指して～
④牛子小学校	特別活動	平成27年 11月24日(火)	「主体的に活動できる心豊かな児童の育成」 ～認め合い、高め合う学級活動を通して～
⑤高階小学校	道徳	平成27年 11月17日(火)	「人との関わりを大切に、よりよく生きようとする子どもの育成」 ～道徳の時間を要とした道徳教育の充実を目指して～
⑥上戸小学校	国語科	平成27年 10月16日(金)	「伝え合い、学び合う子どもの育成」 ～国語科「読むこと」の指導を通して～
⑦川越第一中学校	生徒指導	平成28年 1月19日(火)	「積極的な生徒指導の推進」 ～生徒のよさを活かし、伸ばす指導法の工夫～

2. 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学校名	教科等	研究主題
①仙波小学校	国語科	「仲間との交流を深め、進んで表現する仙波っ子の育成」
②南古谷小学校	道徳	「豊かな心をもつ南古谷っ子の育成」
③大東西小学校	理科 生活科	「豊かな体験を通して探求する力を育む授業づくり」 ～理科・生活科の授業を通して～
④霞ヶ関小学校	算数科	「学び合い、高め合う授業の創造」 ～アクティブラーニングを取り入れた算数学習～
⑤霞ヶ関東小学校	体育科	「全ての児童が安心して運動できる授業を目指して」
⑥名細小学校	算数科	「子どもたち一人一人が『わかる・できる』を実感できる授業づくりの工夫」
⑦高階西中学校	各教科	「一人一人の生徒が生き生きと学ぶ指導法の研究」
⑧寺尾中学校	生徒指導	「豊かな心の育成と自己実現の支援」 ～生徒一人一人が主体的に活動し、満足感や充実感を味わえる教育活動を目指して～

※委嘱学校研究校は2年計画で行っている。

2年目の7校は平成26、27年度の委嘱学校研究校、1年目の8校は平成27年度からの委嘱学校研究校

5. 教育センター分室 (リベラ) Tel:049-234-8333 E-mail:riviera@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 川越市立教育センター分室 (リベラ)
- (2) 所在地 川越市的場 2649-1 (電話 049-234-8333・ファクス 049-234-8337)
- (3) 沿革
 - 昭和 39 年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設する。
 - 昭和 53 年 中央小学校内に移設 (川越小学校校舎改修のため) する。
 - 昭和 55 年 初雁中学校内に移設 (中央小学校校舎改修のため) する。
 - 昭和 56 年 川越小学校内に移設 (川越小学校新築に伴い) する。
 - 昭和 58 年 電話相談室を川越小学校内に開設する。
 - 平成 元年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設する。
 - 平成 6 年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設する。
 - 平成 12 年 川越市教育総合相談センター (リベラ) を開設する。
 - 平成 18 年 いじめ相談直通電話を開設する。
 - 平成 15 年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる。
 - 平成 22 年 川越市立教育センター分室 (リベラ) に名称を変更する。
 - 平成 25 年 いじめ相談電子窓口を開設する。
 - 平成 27 年 いじめ相談直通電話を川越市立教育センターに移設する。
- (4) 設置の目的

児童生徒の多様な悩み等に対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図る。
- (5) 教育相談の内容等
 - ① 相談内容

・ことばや発達の遅れに関するもの	・精神的な不安や身体に関するもの
・性格や行動に関するもの	・学齢期のしつけ等に関するもの
・不登校傾向など学校への不適応に関するもの	・非行・問題行動に関するもの
・その他	
 - ② 相談受理対象者

川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員
 - ③ 相談日時

月曜日から金曜日 (祝休日を除く)、(受付時間 午前 9 時～午後 5 時)
 - ④ 電話相談

月曜日から金曜日 (祝休日を除く)、(受付時間 午前 9 時～午後 4 時)
 - ⑤ 適応指導教室 (小学生及び中学生対象教室)

<開設日及び開設時間>

 - ・開設日 月曜日から金曜日 (祝休日を除く)
 - ・開設時間 午前 9 時 30 分～午後 3 時

<通室までの手順及び手続き>

 - ・直接または校長と相談のうえ申込み→面接相談→体験通室→通室申請→通室決定

《川越市立教育センターにおいて開設》

① いじめ相談直通電話

月曜日から金曜日（祝休日を除く）、（受付時間 午前9時～午後5時）

土曜日・日曜日・祝休日（12月29日～1月3日を除く）、（受付時間 午前9時～正午）

② いじめ相談電子窓口

川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

（1）教育相談の充実

【平成27年度事業予定】

- ・教育に関する悩みや心配等を抱えている保護者や小学生、中学生等の支援を行う。
- ・全市立中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みをもつ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進する。
- ・スクールカウンセラーや教育センター分室（リバーラ）の臨床心理士、スクールソーシャルワーカーなど、専門的知識を有する人材を活用し、小・中学校の児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図る。

【平成26年度事業実績】

- ・リバーラにおける教育相談の延べ件数は、3,605件あった。そのうち面接相談の件数3,228件、電話相談208件、いじめ相談直通電話34件、いじめ相談電子窓口1件、火曜・金曜相談134件だった。臨床心理士の指導・助言を得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。
- ・全市立中学校に1人ずつ配置したさわやか相談員が、小・中学生、その保護者等延べ9,931人の相談に対応した。
- ・週1回から2週間に1回の割合で配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて5,409回の相談を行った。

（2）いきいき登校サポートプランの推進

【平成27年度事業予定】

- ・全市立小中学校における不登校問題の解消に向けて、地元の大学で心理学を学ぶ学生（スチューデントサポーター）や教育センター分室に配置されている臨床心理士及びソーシャルワーカーの活用を図ることで、学校、専門家、地域が連携し、「いきいき登校サポートプラン」を更に推進する。

【平成26年度事業実績】

- ・20人の学生が延べ342回の活動を行った。
- ・臨床心理士を年間45回、教育センター分室（リバーラ）に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を図った。

（3）特別支援教育の充実

① 就学支援委員会の充実

【平成27年度事業予定】

- ・小・中学校への就学予定者及び小・中学校に在籍する児童生徒のうち、教育上特別な措置又は支援を必要とする者に対して、一人一人のニーズに応じた教育的診断を行い、就学の適正化を図るために、学識経験者、医師、学校教育機関の代表者、関係行政機関の職員で構成する就学支援委員会の充実を推進していく。

【平成26年度事業実績】

- ・就学支援が必要な児童生徒に対して、学校訪問による観察、就学前施設への聞き取り等を通して、

状況を的確に把握し就学先を判断した。その際、情報収集に努め、再度諸検査を実施し、更に聞き取りを行った。

- ・判断と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、適正な就学先を決定できるようにした。
- ・就学支援委員会実施回数 40回（ほか臨時21回） 就学相談実施人数 310人

② 特別支援教育支援員の配置

【平成27年度事業予定】

- ・校内の特別支援教育体制を充実させるとともに、自立支援サポーターの活用を図り、通常の学級における支援の推進に努める。
- ・小・中学校に設置している特別支援学級の児童生徒や通常の学級にいる車椅子等の障害のある児童生徒一人一人の障害の特性等に配慮した指導・支援の充実に努める。

【平成26年度事業実績】

- ・通常の学級に在籍する児童生徒の中で、学習障害（LD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）・高機能自閉症等の発達障害があるなどの個別の支援を必要としている児童生徒数は、年々増加しており、各学校からの自立支援サポーターの申請数が増えた。
- ・申請の出された学校には、各学校の実態に応じて1～2日の範囲で、自立支援サポーターをすべて配置した。
- ・自立支援サポーター配置に係る申請のあった児童数 970人 生徒数 89人（延べ人数）
- ・特別支援学級でも通常の学級でも、個々の教育的ニーズに対応する児童生徒数は増加しており、人的環境を整えることで、学校運営の支援ができた。

さわやか相談室

(1) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ① 活動場所…主に全市立中学校に設置されているさわやか相談室
- ② 活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(2) 相談内容

- ① いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ② 児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(3) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学校名	さわやか相談室電話番号(直通)	学校名	さわやか相談室電話番号(直通)
川越第一中学校	223-8022	砂中学校	246-1322
初雁中学校	225-8022	福原中学校	247-0022
富士見中学校	248-6722	大東中学校	247-1322
野田中学校	241-2322	大東西中学校	248-1722
城南中学校	248-6822	霞ヶ関中学校	231-7322
芳野中学校	226-8722	霞ヶ関東中学校	232-0622
東中学校	235-2622	霞ヶ関西中学校	233-3722
南古谷中学校	235-1722	川越西中学校	233-6622
高階中学校	243-2122	名細中学校	231-8822
高階西中学校	243-8122	鯨井中学校	233-6822
寺尾中学校	247-0522	山田中学校	226-5022

特別支援学級

1. 知的障害特別支援学級：知的な障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越小学校	2	中央小学校	1
大塚小学校	1	月越小学校	1
古谷小学校	1	南古谷小学校	1
高階小学校	2	高階南小学校	1
高階北小学校	3	霞ヶ関小学校	2
霞ヶ関南小学校	1	霞ヶ関東小学校	1
霞ヶ関西小学校	1	名細小学校	2
山田小学校	1		

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初雁中学校	2	富士見中学校	2
東中学校	1	高階中学校	2
寺尾中学校	1	霞ヶ関中学校	2
霞ヶ関西中学校	1	名細中学校	2

2. 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越小学校	1	中央小学校	1
大塚小学校	1	月越小学校	1
南古谷小学校	2	高階小学校	1
高階南小学校	1	高階北小学校	2
霞ヶ関小学校	1	霞ヶ関西小学校	1
名細小学校	2	山田小学校	1

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初雁中学校	1	富士見中学校	2
東中学校	1	高階中学校	1
寺尾中学校	1	霞ヶ関中学校	1
名細中学校	1		

3. 弱視特別支援学級：視覚に障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
寺尾小学校	1

4. 肢体不自由学級：身体に関する障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
中央小学校	1

通級指導教室

学校名	学級数	対象
川越小学校(霞ヶ関小学校内分室含む)	3	通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童 通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒
中央小学校	2	
高階小学校	2	
霞ヶ関小学校	1	
富士見中学校	1	

特別支援学校

- 昭和 39 年 川越市立養護学校として開校（小学部、中学部、高等部を漸次拡張）
- 昭和 47 年 4 月 県立川越養護学校開校に伴い、小学部、中学部を県立に移管する。
- 平成 22 年 4 月 川越市立特別支援学校に名称変更（現在の対象は、高等部のみになっている。）

6. 市立川越高等学校 Tel:049-243-0800 E-mail:kawagoekou@city.kawagoe.saitama.jp



- (1) 名称 川越市立川越高等学校
- (2) 所在地 旭町 2-3-7 (電話 243-0800・ファクス 247-6828)
- (3) 沿革

市立川越高等学校は、平成 14 年度に川越商業高等学校から校名変更し、普通科・情報処理科・国際経済科に再編してから 14 年目になる。

普通科では、ここ数年、大学・短大の現役進学率が 70% 台となり、商業系学科では「川商」創立から 90 年の歴史と伝統を活かし、引き続き専門資格の高い取得率と進学・就職実績を上げている。

卒業生は 2 万 4 千人を超えており、さまざまな分野で活躍をしている。

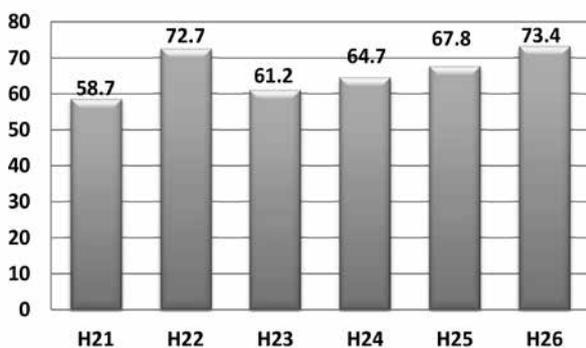
(1) 進路希望の実現

【平成 27 年度活動予定】

- ・平成 24 年度の 1 年生から導入したすべての学科の 35 人少人数学級編制及び入学者選抜における地域特別選抜を引き続き実施する。
- ・3 年生では進路希望に合わせた科目を選択し、一人ひとりにきめ細かな学習指導を実施する。

【平成 26 年度活動実績】

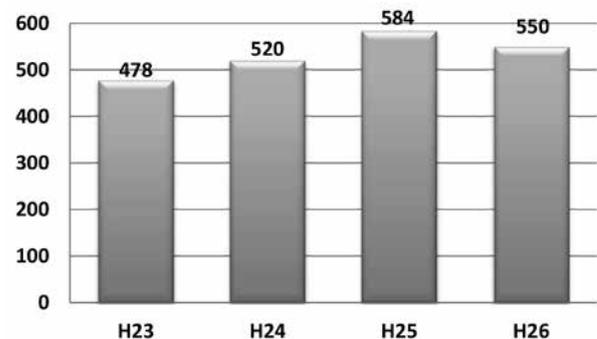
進路指導実績 (下グラフ: 普通科大学・短大現役進学率)



○主な進学先 (平成 27 年 3 月卒)

早稲田大、立教大、青山学院大、法政大、学習院大、國學院大、成蹊大、日本大、東洋大、駒澤大、専修大、武蔵大、立命館大、文教大、大東文化大、拓殖大、東京経済大、他

検定試験 1 級合格者数 (延べ合格者数)



検定種目 (8 種): 簿記、情報処理 (ビジネス情報・プログラミング)、ビジネス文書、電卓、英語、商業経済、珠算

○主な就職先 (平成 27 年 3 月卒)

(株)武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、いるま野農協、日本郵便(株)関東支社、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)プリンスホテル、さいたま市消防局、川越市役所、豊島区役所、他

(2) 部活動の充実

【平成 27 年度活動予定】

- ・文化部和運動部で合計 33 部が、より高い水準をめざして活発に活動を続けている。生徒が主体性を持ち積極的に活動できるよう、充実した指導を行っていく。

【平成 26 年度活動実績】

- ・バレーボール部
 関東高等学校女子バレーボール大会県予選 第 3 位
 (40 年連続 41 回目の出場)
 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール大会県予選 第 3 位
 天皇杯皇后杯全日本バレーボール選手権大会埼玉ラウンド 優勝
 (関東ラウンド進出)
 全日本バレーボール高等学校選手権大会女子県予選 第 3 位
- ・野球部
 春季埼玉県高等学校野球大会 第 3 位
 全国高等学校野球選手権埼玉大会 準優勝
 秋季埼玉県高等学校野球大会 ベスト 8
- ・O A 部 (ワープロ競技)
 埼玉県高校ワープロ競技大会 団体・個人ともに優勝
 (全国大会出場：40 回以上)
- ・ソフトボール部
 関東高等学校女子ソフトボール大会県予選 ベスト 8
 全国高等学校総合体育大会女子ソフトボール大会県予選 ベスト 8
- ・女子バスケットボール部
 関東高等学校女子バスケットボール大会県予選 ベスト 8
 ウインターカップ県 1 次予選 ベスト 8

(3) 中高連携の推進

【平成 27 年度活動予定】

- ・市内中学校 3 校 (城南中、野田中、福原中) と市立高等学校では、川越市の教育の一層の充実を図るため中高連携に取り組んでいく。職員、生徒、保護者の連携を図り、特色ある教育活動を通して、その検証結果をもとに、市内中学校や高等学校に、その成果を普及させ、更なる先導的な役割を果たしていく。

【平成 26 年度活動実績】

- ・高校の授業を理解してもらい、進路指導の一助にしてもらうため、中学校へ本校の職員が出向き、中学生向きの出前授業を実施した。また、小学生と高校生との交流や小学生への出前授業も平成 25 年度から実施している。
- ・中学 3 年生を対象に、市内 16 校において出前授業を行った。
- ・城南中学校の 2 年生全員に本校の教員による模擬授業を本校で実施した。
- ・本校の女子バスケットボール部が大塚小学校 6 年生にバスケットボールの指導を行い、交流した。
- ・本校理科教諭 2 人が新宿小学校 5・6 年生に対し、理科 (実験を中心) の出前授業を行った。

1. 地域教育支援課 Tel:049-224-6086 E-mail:chiikikyoiu@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 青少年教育

① ジュニアリーダースクール

【平成 27 年度事業予定】

- ・子ども会の基礎的な理論・活動展開の在り方・実技指導の方法等を継続的に学習することにより、子ども会ジュニアリーダーとして必要な知識、技能を身に付け、川越市ジュニアリーダースクラブの一員として活躍できる青少年を育成する。

【平成 26 年度事業実績】

- ・開催日 6月8日、7月6日、8月3日、9月7日、10月5日 受講者数 160人

② 育成者研修会

【平成 27 年度事業予定】

- ・子ども会育成者としての資質向上と単位子ども会活動の振興を図る。

【平成 26 年度事業実績】

- ・開催日 5月10日、2月28日 延べ受講者数 512人

③ 棚倉町交流事業

【平成 27 年度事業予定】

- ・友好都市交流事業に参加することにより、他県の環境に親しみ、視野を広め協調性・自主性を育て健全なる成長に資する。

【平成 26 年度事業実績】

- ・中止

④ 子ども会かるた大会

【平成 27 年度事業予定】

- ・子ども会員が一堂に集まり、「かわごえ郷土カルタ」を活用して「5つのめあて」をもとに競技を行う。なお団体・個人とも上位4チーム（人）は川越市代表として、彩の国21世紀郷土かるた県大会へ出場し、県内子ども会代表選手と競いあうとともに、交流を深めることを目的とする。

【平成 26 年度事業実績】

- ・開催日 11月9日 参加人数 871人

⑤ 子ども会育成会補助金交付事業

【平成 27 年度事業予定】

- ・市内の子ども会育成団体の自主性を尊重しつつ相互の連絡協調を図り、その向上発展を期するため、川越市子ども会育成団体連絡協議会が行う事業に対して補助金を交付する。
- ・補助対象団体：川越市子ども会育成団体連絡協議会